

「こんなものでたよ」最近の調査で出土した注目される遺物の紹介コーナーです。
今回は、海老名市河原口坊中遺跡の 1 号旧河道から出土した弥生時代の木製臼と杵です



臼と杵
1 号旧河道出土
(弥生時代後期)

海老名市に所在する河原口坊中遺跡では、弥生時代の川跡から木製の臼と杵が出土しています。今からおよそ 1900 年前の弥生時代後期のものです。当時の臼はお餅をつくためのものではなく、穀物の殻をとる脱穀用の道具でした。

出土した臼は直径が約 56cm ありますが、穀物を入れて搗く部分は中央部の直径 20cm ほどの窪んだ部分です。ここに穀物(例えば稲^{いね}籾)を入れて杵で搗いて実から殻をとります。杵は堅杵^{たてぎね}が多数出土していて、臼とセットで使われていたと考えられます。堅杵は長さが 100～120cm ほどの棒状の木から作られ、両端が搗く部分で、中央部がやや細くなっていて握る部分です。搗く部分の直径は約 10cm で、出土品のほとんどは先端が磨り減っているの、実際に使われたものです。

またこの時代の臼の特徴として、胴体部分を窓のように削り抜いていることが挙げられます。この臼は胴体を削って 6 つの窓をつくり、等間隔に 6 つの柱を残してあります。もちろん搗く部分の真下に当たる中心部分は円柱状に削り残してあります。このように削ることの目的は、変形を防ぐためとか軽量化のためなどと推測されています。でも、少しオシャレにも見えませんか？

行事案内

平成 24 年度東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係財団普及連携事業・公開セミナー

「考えよう！旧石器人のライフスタイル」

日時：平成 25 年 2 月 11 日(祝) 10:00～16:30

場所：杜のホールはしもと ホール(神奈川県相模原市緑区橋本 3-28-1 ミウイ橋本 7F)

JR 横浜線・相模線、京王相模原線「橋本駅」北口すぐ

同会場「ホワイエ」にて遺物展示およびポスターセッションを実施予定。

入場無料 発表会定員:535 名(発表会当日先着順)

※詳細は決まり次第、チラシ・ポスター・財団ホームページ等でお知らせいたします。

発掘帖バックナンバーはホームページ (<http://www.kaf.or.jp>) からダウンロードできます。



お申し込み
お問い合わせ

(公財) かながわ考古学財団 野庭出土品整理室
〒234-0056 横浜市港南区野庭町 1660 E-mail: fukyu@kaf.or.jp
TEL: 045-842-9888 (平日 8:30～17:15) FAX: 045-842-9904

※かながわ考古学財団は 2011 年 4 月 1 日より公益財団法人に移行しました。

考古学財団発掘帖

通巻
18 号

かながわ考古学財団情報誌

平成 25 年 1 月 16 日発行



遺跡の近景

横浜市

につばせんげんじんじや

新羽浅間神社遺跡

本遺跡は横浜市港北区新羽町に所在し、横浜市営地下鉄ブルーライン北新横浜駅の南西約 0.5 km のところにあります。遺跡周辺は下末吉台地の中央付近にあたり、本遺跡は鶴見川へ突き出した半島状の丘陵上に立地しています。上の写真は南西方向から遺跡周辺を撮影したもので、写真のほぼ中央が新羽浅間神社遺跡にあたります。小高い高まりは「亀甲山」と呼ばれる丘陵で、室町時代に活躍した太田道灌とゆかりのある場所とされています。鶴見川を挟んで対岸にある小机城を攻める際、太田道灌が陣を敷いたのが亀甲山と言われていて、およそ 2 ヶ月間の攻防を繰り返した後に太田道灌は小机城を攻め落とすことに成功したそうです。

目次

- 発掘現場・出土品整理インフォメーション
横浜市港北区:新羽浅間神社遺跡
伊勢原市:No.123 遺跡
伊勢原市:No.71 遺跡
寒川町:宮山中里遺跡・倉見川端遺跡
- こんなものでたよ 河原口坊中遺跡 1 号旧河道出土 臼と杵
- 行事案内 平成 24 年度東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係普及連携事業
公開セミナー「考えよう！旧石器人のライフスタイル」



(公財) かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1

考古学財団 ☎ 045-252-8689 FAX 045-261-8162 URL <http://www.kaf.or.jp>

発掘現場・出土品整理 インフォメーション

わたしは川尻中村遺跡(相模原市)のはちまき土偶はっちです。
発掘調査や出土品整理中の遺跡の紹介をします。



新羽浅間神社遺跡(にっばせんげんじんじやいせき)

(所在地)	横浜市港北区	(時代)	近世、中世、奈良・平安時代、古墳時代、弥生時代、縄文時代	(調査期間)	2012 年 2 月～7 月
-------	--------	------	------------------------------	--------	----------------

本遺跡の調査では、近世以降の土坑や道状遺構、古墳時代後期の横穴墓、弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴住居跡、弥生時代中期初頭の土器棺墓、縄文時代の集石等が発見されています。これらの遺構は、主に亀甲山からその北側に広がる平坦部にかけて分布していました。中でも注目すべきは弥生時代中期初頭の土器棺墓で、本遺跡からは 2 基の土器棺墓が発見されています。写真の土器棺墓では、掘り込みの底面で小型の壺が出土しました。

この頃の東日本のお墓は、一度埋葬した遺体を洗骨などにより骨化させ、その後、土器棺などに納める再葬墓と呼ばれるものが主体です。新羽浅間神社遺跡の土器棺墓も再葬行為を伴うお墓である可能性が高いと考えられます。



2号土器棺墓(弥生時代)

伊勢原市No.71 遺跡(いせはらしなんばー71 いせき)

(所在地)	伊勢原市東富岡	(時代)	近世、中世、奈良・平安時代、古墳時代、縄文時代	(調査期間)	2012 年 4 月～2013 年 3 月
-------	---------	------	-------------------------	--------	-----------------------

遺跡は小田急小田原線伊勢原駅の北方約 2km に位置する標高 35～36mの台地及びその周辺に立地しています。調査は新東名高速道路建設事業に伴い 2010 年 10 月から実施しており、平成 24 年度は 7～12 区の調査を行っています。写真は 9 区で発見された中世の土坑から出土した遺物の出土状況写真です。土坑は標高 22mほどの谷戸地形を呈する部分に掘られており、規模は長径 2.6m、短径 1.9m、深さ 0.6mを測ります。遺物は木製品が主体で、荷駄鞍・田下駄・下駄・白木の皿・曲物の一部・箸等が認められました。



土坑遺物出土状況(中世)

伊勢原市No.123 遺跡(いせはらしなんばー123 いせき)

(所在地)	伊勢原市子易	(時代)	近世、中世、奈良・平安時代、弥生時代、縄文時代	(調査期間)	2012 年 9 月～2013 年 3 月
-------	--------	------	-------------------------	--------	-----------------------

本遺跡は、小田急線伊勢原駅の北西約 3.5km に位置しています。大山に源を発し市域を南東流する鈴川の右岸段丘上に立地し、遺跡立地面の標高は 105～110mを測ります。今回の発掘調査は新東名高速道路建設事業に伴うもので、以前、当財団で調査を実施した子易・大坪遺跡の隣接地 2 地点(4 区・5 区)の発掘作業を、2012 年 9 月より実施しています。

発掘作業は、2012 年 11 月末現在、中世面の遺構調査を実施しています。鈴川に臨む段丘面の上段にあたる 4 区では、建物の痕跡がみつかりました。規模等は現在確認中ですが、総柱のかなり大きな建物をはじめ、複数棟が存在するようです。下段側の 5 区では、4 区に展開する建物群の北側を区画する大形の溝状遺構がみつかり、中世の居館とそれを圍繞する区画溝という構成が明らかになりつつあり、今後の調査が楽しみな状況です。



建物跡検出状況(中世)

宮山中里遺跡(みややま・なかざといせき) 倉見川端遺跡(くらみ・かわばたいせき)

(所在地)	寒川町宮山 寒川町倉見	(時代)	近世、中世、奈良・平安時代、古墳時代、弥生時代	(調査期間)	2012 年 4 月～12 月
-------	----------------	------	-------------------------	--------	-----------------

両遺跡は神奈川県高座郡寒川町に所在し、一般国道 468 号(さがみ縦貫道路)建設事業に伴うものです。遺跡は JR 相模線宮山駅北西側の 1.5km 以内に位置し、相模川左岸の自然堤防上に立地します。その標高は約 10mを測ります。写真は倉見川端遺跡の古墳時代の住居跡における遺物の出土状況です。住居跡の床面付近から壺・甕・鉢・高坏等の古墳時代前期の土師器とそれに伴う鏡等が発見されました。鏡は住居跡の南東側で床面より約 5cm 浮いて鏡面を上にした状態で出土しています。鏡は中国に倣って当時の日本でつくられた青銅製の小型倣製鏡と判断されました。この鏡は通巻 16 号で紹介したものです。



住居跡遺物出土状況(古墳時代)

公益財団法人かながわ考古学財団では年数回、**行事案内メール**を送付しています。

行事案内メールをご希望の方は、氏名・メールアドレスを記入の上、行事案内希望と明記したメールを fukyu@kaf.or.jp までお送り下さい。はがきによる案内をご希望の方は往復はがきを野庭出土品整理室宛てに送付して下さい。なお、お寄せいただいた個人情報は行事案内以外の目的には使用いたしません。